



日高ロータリークラブ WEEKLY

2025-2026 R.1テーマ
よいことのために手を取り合おう

THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	小坂雅彦	幹事	町田秀雄	会報委員長 犬竹一浩

第1959回例会 2026年4月14日(火) 通常例会

2026年4月21日発行 第1739号

本日のお客様

曾山義之様(株)日本トリム 健康経営アドバイザー)
 横浜港北RCより
 久保田昌宏様 藤原友子様 久保田実奈様(久保田様御夫人)
 磯田真哉様(パートナーコーポレーション(株) 代表取締役)

会長の時間 小坂雅彦会長

本日は、たくさんのお客様に御来訪頂いております。例会が賑やかになって嬉しい限りであります。皆様、どうぞゆっくと楽しんで行って下さい。さて、先日の観桜会ですが、多くの会員皆様にご参加頂きありがとうございました。素敵な会場を御手配頂いた親睦委員長始め、親睦委員会の皆様に改めて御礼申し上げます。アットホームない雰囲気、有意義な時間を過ごすことができました。そしてその前(日中)は、恒例の『飯能・日高合同ゴルフコンペ』が開催されました。改めて、「当クラブはゴルフが上手な会員さんが多いなあ…」と思いました。優勝こそ親クラブであります飯能 RC さんに譲りましたが(笑)、2位以下は日高クラブが独占状態でした。これは本当に凄い事(誇らしい事)でありますね。次年度は飯能 RC さんがホストとして、また同時季に開催されるとおもいます。ゴルフを嗜まれる会員皆様、続々にご参加下さいませ。こうしているうちに、残す行事もあと僅かとなって参りました。今月19日には、クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)以前の地区研修協議会が開催予定です。こちらが終了致しますと、次年度への準備が加速するかとおもいます。ともあれ、研修協議会で学んだ知識をクラブに還元できるよう、一生懸命拝聴して参ります。



幹事報告 町田秀雄幹事

地区事務所より

・4月ロータリーレートの御知らせ 1ドル160円

結婚誕生祝

齋藤由貴親睦委員



[誕生日] 4月

谷野秀之さん	大河原 実さん
古本良子さん	和田貴弘さん
犬竹一浩さん	清水義峰さん
武藤和雄夫人	米子様

[結婚記念日]

大河原 実さん	長谷川 悟さん
鬼澤孝広さん	和田貴弘さん



卓話

曾山義之様(株)日本トリム 健康経営アドバイザー)

『水と健康』

～ウォーターヘルスケアという新習慣～

日本トリムグループは、機能水である電解水素水をベースとした『ウォーターヘルスケア事業』および電解水透析や、国内最大の民間さい帯血バンクを軸とする先進医療分野の『医療関連事業』を展開し、グローバルなメディカルカンパニーを目指して挑戦し続けている会社です。ウォーターヘルスケア事業ですが、予防医療、医療費削減の貢献を軸としております。毎日飲む水の質を変えることが健康の維持・増進の一助として大きく寄与するとの考えのもと、ウォーターヘルスケアという新習慣を提唱し、からだにいい水『電解水素水』の飲用による予防医療、医療費削減への貢献を目指しています。近年、健康経営の観点から企業においてもウォーターヘルスケアの導入が進んでいます。医療関連事業ですが、新たな事業軸の一つとして構築し、メディカルカンパニーへの飛躍を目指しています。電解水素水を医療に応用した『電解水透析』は、透析患者のQOLを改善できる次世代新規治療法として期待されており、今後普及が拡大してまいります。また、先進医療分野においても、国内最大の民間さい帯血バンクである株式会社ステムセル研究所が急成長しており、同社を中心に今後の大幅な市場拡大が見込まれるため、再生医療分野における事業基盤強化に取り組んでおります。私自身の話になりますが、前職が現代で言う『ブラック』でした。忙しすぎて生活習慣が乱れ…ストレス、暴飲暴食、睡眠時間の欠如等々、乱れに乱れそれらが祟り、入院(人工透析)の一手手前までいってしまいました。そこで出会ったのが、日本トリムの『電解水素水』でした。毎日水素水を摂取することによりみるみる身体が変化し、快方へ向かいました。この『水に救われた』という経験が基となり、日本トリムへ入社したという経緯もございますが、「この話を知らない人に広めたい!」という想いが何より強かったです。こうして、本日皆様の前でお話させて頂けることが本当に嬉しいのです。



～水から始める・続けられる『健康経営』の第一歩～

当社は、経済産業省が企業の健康経営の普及促進のため創設した『健康経営優良法人認定制度』において、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として『健康経営優良法人 2026』に認定されました。認定期間は、2026年3月9日から2027年3月31日までです。管理医療機器である電解水素水整水器から生成される電解水素水の日常的、習慣的な飲用が、社員ならびにその家族、またお客様の健康維持・増進、疾病予防の一助として大きく寄与すると考えています。今後膨れ上がる国民医療費の削減に貢献すべく、電解水素水整水器の普及に努めています。また、社内ではヘルスケアを事業の中核とする企業として、医療費削減、労働生産性向上、経営の効率化を目的に「健康経営」を一つの成長戦略と捉え、さまざまな取り組みを実践してきました。職場環境の改善、労務管理の徹底、業務の効率化や健康保険組合から健康レポートの提供を受けるなど、従業員の健康保持・増進に取り組んでいます。そして健康経営を自社のみならず社会全体へ波及させていくため、多くの従業員が『健康経営アドバイザー』の認定を取得しております。専門知識を備えた従業員が、顧客企業や社会に対して健康経営の重要性を啓発することで、一企業に留まらない医療費削減と健康長寿社会の実現を目指しています。

～社内での主な取り組み事業～

- ・社内ウォーキング大会の開催
1年に3～4回、全従業員を対象に、社外のパートナー企業とも連携したウォーキング大会を開催しています。
- ・社内健康Webセミナーの実施
医師や管理栄養士といった専門家による全17テーマにわたるWeb研修を実施しています。受講後の理解度チェック等を通じ、ヘルスリテラシーの向上を図っています。場所や回数を選ばず各自のペースで繰り返し視聴できる環境を整えており、女性特有の健康課題など、多様な健康リスクへの理解を深めています。

現在、日本に限らず、先進国や新興国においても生活習慣病が問題となっています。健康長寿社会の実現をめざした取り組みがおこなわれているなか、日本トリムが重要と考える医療は『予防』です。からだにいい水を日々の生活に取り入れることは、健康の維持・増進対策の一つとして、とても容易で継続しやすい方法です。是非、水と健康が直結していることを念頭に、自身の身体、健康について今一度御思案下さいませ。

出席報告	4月14日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	3/31修正率
	昼間	22	14	2	8	65%	60%

ニコニコボックス報告

14名 合計金額 24,000円 累計金額 376,000円